

去る紀尾井フォーラムにおいて、46 名の参加者を得て第 41 回の CIM 解決研究会勉強会が開催されました。

勉強会前には、正会員のみが参加できるクローズの会が開催されました。また、勉強会冒頭では、(株)アクティオの今関政美理事によるご挨拶を頂きました。

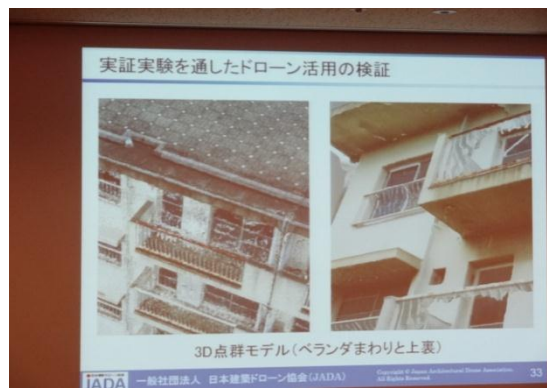
「建設現場のICTソリューション「スマートコンストラクション」」 コマツ 石橋昌樹様

栈橋補強の現場における水中スキュナを活用したモデリングの事例や、ネパールでのバックパック計測に関するお話を頂きました。参加者の方からは「ユーザ視点で本当にそれが現場で役立つかという QA は良かった。」といった感想を頂きました。



「建築分野におけるドローン技術の動向と建物点検の事例紹介」 (一社)日本建築ドローン協会 宮内博之様

VR 機能を活用した工事現場の近隣説明会や、日影シミュレーションなどの Fuzor の活用事例に関するお話を頂きました。参加者の方からは「建物の点検市場は今後増えることと課題もあらためて理解できた。」といった感想を頂きました。



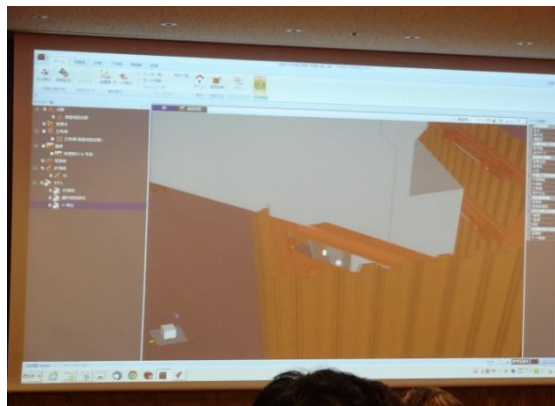
「AEROBO シリーズの産業活用！その無限の可能性」 エアロセンス㈱ 新井野翔子

栈橋補強の現場における水中スキャナを活用したモデリングの事例や、ネパールでのバックパック計測に関するお話を頂きました。参加者の方からは「機器の存在を初めて知りました。」といった感想を頂きました。



「現場の3次元化事例等」 当会 福士幹雄、齊藤学一

福士からは、広島県のゴルフ場の案件に関する事例などに関する発表をさせて頂きました。齊藤からは、自身の新会社・KOSEN ネットワークホールディングスに関する説明などをさせて頂きました。参加者の方からは「いつもながら現場の問題点と改善方法について良く説明出来ています。」といった感想を頂きました。



勉強会終了後の懇親会には 34 名の方にご参加いただきました。沢山ご来場頂き有難うございました。

